

## 令和7年度（平塚盲学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（神奈川県職員行動指針の周知徹底、公務外非行の防止を含む）	常に教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守することにより公務外非行の発生を未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県職員行動指針の周知徹底および教育公務員としての立場についての再確認を行った。</li> <li>・サービスに関する諸事項の確認を行い、特に、適正な休暇取得や出張の届け出や実施について周知した。</li> </ul>
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場環境を悪化させ業務運営の支障となり、意欲を減退させ、精神的な障害に陥る要因にもなり得るものである一切のハラスメントの根絶を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメントのケースを挙げつつ、人権尊重の意識向上とともに、点検と注意喚起を行った。</li> <li>・ポジティブな事例をあえてとりあげることで、互いを意識し、相談しやすい職場へのアプローチを行った。</li> </ul>
幼児児童生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	相手の心身を思いやり、人権を尊重した適切な指導を行い、わいせつ・セクハラ行為を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わいせつ・セクハラによる不祥事の重大性や、それらがもたらす影響についての自分ごととしての啓発を行った。</li> <li>・人権についての全体研修会を行った。</li> </ul>
体罰、不適切な指導の防止	幼児児童生徒の立場に立った、人権を尊重した丁寧な指導を徹底し、体罰や不適切な指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童生徒に対する丁寧でわかりやすい対応の大切さについて共有した。</li> <li>・教員や関係者間での、日常的で迅速かつ正確な報告、連絡、相談の必要性を確認した。</li> </ul>
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止。	入学者選抜における試験問題作成・管理および採点業務等を適正に実施する。成績処理や進路関係書類に係る事務処理を適切に行い、事故防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者選抜に係る業務手順やチェック体制の再確認について促し、書類および情報の保管管理の徹底について周知した。</li> <li>・成績や進路に係る書類の保管管理の徹底や公正な作成についての周知を行った。</li> </ul>

個人情報等管理・ 情報セキュリティ 対策（パスワード の設定、誤廃棄防 止）	記録メディアや文書 の管理を徹底し、個 人情報の紛失・流失 や誤配付・誤送信を 未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録メディアの適正な使用と情報管理およびチェック体制の確認や徹底を行った。</li> <li>・携帯電話、メール、SNS等の持つリスクの再認識と不適切な使用の防止を徹底した。</li> <li>・個人情報の持ち出しに関する管理規定遵守の徹底や手続きの整理を行った。</li> </ul>
交通事故防止、酒 酔い・酒気帯び運 転防止、交通法規 の遵守	法令遵守を徹底し、 交通事故や交通違反 の発生を未然に防止 する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育公務員としての意識を持つとともに、交通ルール等の法令理解と遵守の徹底を図った。</li> <li>・飲酒がもたらすリスクやその影響等について、意識啓発や注意喚起を行った。</li> </ul>
業務執行体制の確 保等（情報共有、 相互チェック体 制、業務協力体 制）	業務の効率化や調整 を図り、職員間で協 力体制をつくりあ げ、事故や不祥事を 未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の作成および執行についてのダブルチェックの徹底を確認した。</li> <li>・物品管理や環境における安全点検の実施を行った。</li> <li>・不明な点を放置せず、迅速な連絡・相談を励行した。</li> </ul>
会計事務等の適正 執行	公費及び私費会計基 準に則り、適正な処 理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各会計の計画的な予算執行と会計基準にもとづいた適切な会計処理の徹底とともにマニュアルの必要な改訂等も行った。</li> <li>・私費会計簿等の定期的な点検を行い、不備等に報告対応を含め迅速に対応した。</li> </ul>

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

ゼロプログラムのそれぞれの項目について、点検や周知・啓発について年間を通して取組み、併せて適正で安全な業務の執行のための点検やマニュアルの改訂等を行ってきた。また、不祥事防止とともに人権意識の向上についても、意識的に取り上げてきた。

不祥事の撲滅のためには、常に教職員が高い意識を持っていることが重要と考える。そのために、今後も周知や啓発の繰り返しと取組みの工夫や改善を加えながら、不祥事防止に取り組むべきである。